

学校法人北里研究所報

第104号



北里研究所旧本館（博物館明治村）

目次

■ トピックス(2)	■ 委員会等(23)
・ オール北里チーム医療演習を実施しました	・ 教職課程センター員
・ ローベルト・コッホ先生命日に献花式を執り行いました	・ 北里大学地域連携室運営委員会
■ 2017(平成29)年度学校法人北里研究所事業業績(3)	・ 学校法人北里研究所発明委員会
■ 2017(平成29)年度学校法人北里研究所総合事業計画に対する自己点検・評価(6)	■ 学術交流(23)
■ 2017(平成29)年度学校法人北里研究所収支決算(8)	・ 北里大学理学部学生の受け入れに関する協定の締結
■ 2018年各種国家試験結果(20)	■ 学長助成金の募集(23)
■ 事業計画（追加）(21)	■ 北里国際貢献賞の募集(24)
■ 学長(21)	■ 北里環境科学センター助成研究の募集(24)
■ 学部長・病院長等(21)	■ 学校法人北里研究所の理念並びに建学の精神英訳(24)
■ 理事(21)	■ 受賞(25)
■ 評議員(22)	■ イベント(25)
■ 組織(22)	・ 第46回発明相談会
・ 臨床研究機構の組織改組	・ 第28回北里漢方教室
・ 北里大学病院組織の追加	・ 北里大学メディカルセンター市民講座
■ 規程(22)	・ 2018年度北里大学薬学部生涯学習セミナー（夏期）
・ 知的資産センター設置規程の改正	■ CO ₂ 排出量と光熱水費（2018年4月）(27)
・ 臨床研究・治験信頼性保証室設置規程の制定	■ 行事予定表（7月～9月）.....(別紙)
・ 北里大学病院設置規程の改正	

【法人・大学の理念】

学校法人北里研究所は、北里柴三郎博士の精神に則り、

「いのちを^{たつと}尊び、生命の真理を探究し、

実学の精神をもって社会に貢献する。」

ことを理念とする。



トピックス

オール北里チーム医療演習を実施しました

4月30日(月)、5月1日(火)の2日間、相模原キャンパスで2018年度オール北里チーム医療演習が実施されました。この演習は、チーム医療の構成員の専門性を理解し、自らの専門性をいかして多職種協働できるようになるために、チーム医療に関する基本的能力の修得を目指すもので、医療系4学部（医学部、薬学部、看護学部、医療衛生学部）と、2つの併設校（保健衛生専門学院、看護専門学校）から、計1,105名の学生が出席しました。

1日目、学生たちは10～11名の単位で104のチームに分かれ、ファシリテータの支援のもと、与えられたテーマについてチームディスカッションを行いました。開会の挨拶で伊藤智夫学長から「全員、必ず発言してください」とお話があったように、積極的に議論に参加する様子が見受けられました。2日目は、チームディスカッションと発表準備を進め、午後からチーム発表を13の会場で行い、2日間の演習を終えました。

本学は、他大学に先駆けた「チーム医療教育」を推進しています。今年度は、昨年9月に竣工した臨床教育研究棟（IPE棟）をチームディスカッション会場に加えたことが特筆すべき点です。また、ディスカッションのテーマ・シナリオは、毎年見直しが行われています。患者さんを中心にしたより安全で良質な医療の実現のため、北里独自のチーム医療教育は進化を続けています。



ローベルト・コッホ先生命日に献花式を執り行いました

5月26日(土)に、白金キャンパスのコッホ・北里神社で、ローベルト・コッホ先生命日献花式を執り行いました。北里柴三郎博士が生涯の師と仰いだコッホ先生が、1910年5月27日、67歳で生涯をとじられてから今年で108年目にあたります。コッホ先生が亡くなった時、北里博士はその遺髪を取り寄せ、この祠のご神体として奉り、恩師を偲びました。北里博士の意志は現在も引き継がれ、毎年コッホ先生の命日には献花式が行われます。

献花式には、小林弘祐理事長、伊藤智夫学長をはじめ、大村 智特別荣誉教授、北里一郎顧問や多くの役員が参列し祈りをささげました。

今年の2月、ローベルト・コッホ研究所から本法人へ1000羽の折鶴が贈られ、理事長のご提案で献花式でお披露目となりました。糸で繫いだ千羽鶴は、当日祠に飾られ、美しく厳かな雰囲気を醸し出していました。献花式の後、千羽鶴は北里柴三郎記念室で展示される予定です。

本学とローベルト・コッホ研究所は2008年12月に学術交流協定書を締結し、2013年11月には協定書の更新を行い、さらなる連携・協力体制を構築しています。



2017（平成29）年度学校法人北里研究所事業業績

はじめに—2017（平成29）年度を振り返って—

第20期理事会が発足して2年度目となる2017（平成29）年度は、第20期理事会のミッションである「盤石な財務体質を確立し、より質の高い教育・研究・医療を支える体制を築くこと」の実現に向け、特別施策を含む10の重要施策のうち、特に本法人が喫緊に取り組むべき重要な課題について、以下の通り事業を推進しました。

「経営改革の断行」については、主に『4病院の経営改革』に取り組みました。相模原病院群においては、厳しい経営状況が続いているため、大学病院と東病院の一体運営をより強化し、①大学病院の赤字脱却、②東病院の赤字削減、③両病院としての赤字脱却という過程を着実かつ早期に進めることを目標に、東病院では精神神経科ダイケアの廃止及び健康科学センターを閉鎖するとともに、大学病院では、診療科別病床数を再編することで経営改善を進めました。しかし、東病院では新病院プロジェクト計画時の予測値と決算の乖離幅が大きく、医療経費以外の光熱水費等の固定費の削減が困難であったため、東病院の大学病院への移転・統合を検討することを目的として設置した「大学病院への東病院移転・統合検討プロジェクト」からの答申（①理事長が本プロジェクト設置の際に提唱した「リフト&シフト（Lift-and-shift）」の基本方針を具現化する。②相模原病院群を黒字化する。③相模原病院群の許可病床数（大学病院1,033床・東病院413床）を最大限に活用する。）に基づき、東病院の全部門を大学病院へ移転・統合することをもって相模原病院群の経営改善に向けた方向性とすることを理事会にて承認しました。これを受け、新たに「大学病院への東病院移転・統合プロジェクト」を立ち上げて具体的検討を進め、大学病院の経営を黒字化するために、大学病院、東病院、管財部、経理部が連携して、新病棟建築と既存棟改修に関する計画案（黒字化実現までの長期収支予測を含む）及びスケジュールを策定する旨の方針を定めました。

「教育・研究・法人運営の基盤整備」については、主に『キャンパス整備の推進』に取り組みました。相模原キャンパスでは、医療系3学部（医学部、看護学部、医療衛生学部）の校舎建替整備計画の早期実施に向けて計画を具体化するなど総力をあげて取り組み、医療衛生学部新A号館（仮称）の建設工事の計画策定に着手しました。また、2017（平成29）年8月末には医療系学部の臨床教育、大学病院における卒前・卒後臨床教育など、多職種横断型臨床教育を展開する施設として、臨床教育研究棟を竣工することができました。白金キャンパスでは、Ⅱ期工事として整備を推進していた北里研究所/北里大学 プラチナタワー及び北里柴三郎記念館が2017（平成29）年8月末に竣工し、これに伴い相模原キャンパスから白金キャンパスへ法人本部を移転し機能の強化を図りました。

「教育体制の充実」については、主に『特色ある教育研究の推進』に取り組みました。生命科学の総合大学として、チーム医療教育、農医連携教育研究、感染制御教育研究、医工連携教育研究、東洋医学教育研究を特色ある教育研究に位置づけ、部門横断型のカリキュラム及び全学共同プロジェクト研究を推進し、大学教育の質向上と特色の深化に努めました。チーム医療教育プログラムは、12年目を迎え、本学の学びの4本柱の一つとして定着し大きな成果を挙げています。2017（平成29）年度は、1,096名の学生の参加により、113名の担当教員及び34名の職員のもとで職種間の相互理解と連携、協働できる能力の獲得を目指した意義ある開催となりました。また、2017（平成29）年10月に国際チーム医療演習実行委員会が設置され、新設された臨床教育研究棟において、2018年2月28日に国際チーム医療演習が開催されました。本学学生54名をはじめ、オーストラリア2名、チェコ2名、イタリア2名、アメリカ10名、ミャンマー3名の計73名参加による活発な演習が行われました。農医連携教育研究では、「農医連携拠点の創出：食を介した腸内環境制御による健康社会構築」事業が2017年度文部科学省私立大学研究ブランディング事業に選定され、2021年度までの5年間にわたり補助金交付事業として推進されることとなりました。感染制御教育研究では、本年度で9年目となる病院感染制御担当者育成講習会が6回開催され、総参加者数は1,703名にのびりました。また、医工連携教育研究では、協定を締結した神奈川工科大学とともに、北里大学・神奈川工科大学医工連携キックオフシンポジウムを開催しました。東洋医学教育研究では、文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム」北海道大学 COI 拠点「食と健康の達人」サテライトの事業（4年目）として、ICTを使った漢方診断の標準化、及び生薬の品質評価システムの確立を目指し研究を推進しました。また、WHO 伝統医学協力センター（WHOCC）活動の一環として、2017（平成

29)年6月に「第6回日韓 WHO 伝統医学協力センターシンポジウム」を開催し、The role of traditional medicine in an aged society をテーマに10演題が発表され、韓国及び富山大学からの参加者との間で活発な議論が行われました。

「研究体制の充実」については、主に『研究推進力向上を支える体制の構築』に取り組みました。国の競争的資金などのさらなる獲得を目指し、文部科学省などが定める指針に基づき、研究の高度化を支える体制を強化するために、URA (University Research Administrator) の導入について検討を進め、2018年度からその採用を決定しました。また、学長のリーダーシップの下、全学的な独自色を大きく打ち出す「2017年度文部科学省私立大学研究ブランディング事業」に選定されたことにより、国内外の企業、研究機関などとの研究交流の活性化、研究の高度化、さらに全学的研究プロジェクトの構築に向けた体制強化が進みました。

「医療提供体制の充実」については、4病院における効果的な医師人事、卒前・卒後教育、さらには新専門医制度への対応を図るために、医学部長を委員長とする4病院医師人事調整委員会において、本学としての全体最適を目指した戦略的な医師人事の実施に向けた調整を進めました。また、地域医療構想など政策動向に注視し、本学としての全体最適を目指した医療提供体制を構築するために、各病院においては新規事業への取組を推進しました。

「治験・知財の活用」については、『知的財産マネジメント及び治験・臨床研究体制の強化』に取り組みました。研究推進部の下に組織された「臨床研究審査体制の在り方検討ワーキンググループ」において、臨床研究中核病院の申請に向けて、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づく臨床研究倫理審査体制の在り方を検討しました。臨床研究法の施行に伴い、特定臨床研究を実施するためには臨床研究実施基準の適合性を審査する「認定臨床研究審査委員会」での審査が必須となり、また、当該委員会の設置が臨床研究中核病院の認定要件の一つとされています。上記ワーキンググループの検討結果を基に医学部及び大学病院に委員会を設置するため申請した結果、厚生労働大臣より2018年3月30日付で認定を受けることができました。また、相模原キャンパスで実施する治験（第Ⅰ相試験）事業の白金キャンパスへの統合再編に伴い、相模原及び白金の臨床試験センターの連携強化と、臨床研究機構及び医学部附属臨床研究センター（KCRC）の在り方について検討しました。その結果、治験（第Ⅰ相試験）の実施については、2018年度以降も収益性に問題がないことが確認されたことから、白金キャンパス（北里研究所病院臨床試験センター）で実施することを決定し、臨床研究機構については、他大学の状況等を鑑みて、2018年7月1日付で大学病院を中心に組込むこととしました。

「人事・給与制度の整備」については、多様な事務系職員採用制度の構築や障害者雇用の積極的な取組み等に加えて、特に法人・大学全体の組織力をさらに強化することを目標に、全学的なSD研修（教員及び事務系職員が法人や大学などの管理運営に必要な知識、技能を身に付け、能力、資質を向上させるための研修）の検討に着手しました。職種毎の教育・研修については計画通り実施され実質的な効果を挙げたものの、新たな試みである全学的規模のSD研修については具体的な提案までに至らず、研修内容や実施方法を再考し引き続き鋭意取組むこととしました。

「危機管理・コンプライアンスの強化」については、主に『危機管理の強化と組織防衛』に取り組みました。本法人において発生する危機事象としては、自然災害の他に、大火災、危険物爆発、感染症やコンプライアンス違反など、様々な事態が考えられます。これらへの対応の遅れや誤りは、法人並びに構成員に大きなダメージを与えると同時に、社会的信頼の失墜は組織の存続を脅かす可能性さえあります。2017（平成29）年度は、9月12日に「医学部研究用液化炭酸ガスボンベの破裂事故」が発生しましたが、大学及び法人ホームページにおいて発生状況・原因等を周知するとともに、各部門に設置されているガスボンベの安全を確認するための調査を実施しました。また、12月24日に発生した「医学部研究エリアの火災」についても、大学ホームページにおいて速やかに発生状況等を周知することに加え、緊急時の迅速かつ適切な消防活動に向けて、各部門（研究室等）の危険物管理状況調査を実施するとともに、緊急時の情報伝達体制を整備するなど、危機管理体制を充実させました。

「社会貢献の推進」については、『社会・地域・国際貢献活動の推進』に取り組みました。2017（平成29）年度は、国際的に活躍する卒業生を表彰する「北里国際貢献賞」の授与を開始しました。また、私立大学改革総合支援事業タイプ2「特色を発揮し、地域の発展を重層的に支える大学づくり」に選定されるとともに、釜石市

の地域振興と復興支援への貢献が評価されて、「釜石市市勢功労者表彰（特別功労表彰）」を受けました。一方、北里としての存在意義を明確にしながら地域貢献及び国際貢献を推進し、本法人の社会的責務を果たすための諸施策を遂行するとともに、2016（平成28）年度に設置した「北里ブランド推進会議」においては、北里の独自性や優位性をより強力に発信するためのブランド広報の強化に向け、「情報集約及び情報共有に関する仕組みの構築」、「ブランド力向上のための広報の在り方の検討」、「各部門の広報に対する戦略的情報発信の支援」を協議し、情報集約及び情報共有を進めました。

「法人運営の根幹の強化」については、『法人・大学の理念の再構築』及び『役員選出方法の見直し』に取り組みました。『役員選出方法の見直し』では、「学長・副学長の選出手続きの見直しWG」を設置し、「①第19期及び第20期において、理事長・学長の選出時期をずらし、理事会を運営してきたが、当初の目的が達成されているかどうか。②現行の学長及び副学長の選考手続き等に係る各課題への対応を検討するとともに、当該課題解決に向けて、関連する諸規程の改正案を策定する。」との諮問について検討を重ねた上、その答申に基づき、理事長と学長の任期ずれを解消するとともに、「学長選考規程」、「副学長に関する規程」、「嘱託職員就業規則」を改正しました。

2017（平成29）年度の財務目標は、経常収支差額比率0.8%以上、経常収支差額7億円以上と設定していましたが、決算では1.9億円の収入超過（経常収支差額比率0.2%）に留まり、目標には達しませんでした。それでも教職員一人ひとりの意識改革と効率的経営を推進したことにより、昨年度に引き続き黒字決算を実現しました。しかし、今後も校舎の建替を含む環境整備に高額な投資が続くことや、病院群の収支が不均衡であるなど法人運営が厳しい状況下にあることは変わりありません。第20期理事会は引き続き、新たな時代に対応するため柔軟な発想力と確かな行動力をもって経営改革を断行します。教職員は一致団結してこの難局を乗り切れるよう、経営改善と教育・研究・医療の発展に向け努力されるよう期待します。

特記事項

1. 法人・大学の理念の再構築

■北里研究所・北里大学の理念

いのちを尊び、生命の真理を探究し、実学の精神をもって社会に貢献する。

《経緯》

2016（平成28）年度に設置された「法人及び大学の理念等の再構築ワーキンググループ」からの答申（法人の理念の構築にあたっては、本法人の歴史的背景、果たすべき役割、目的、価値観を反映させながら、これらを簡潔かつ明瞭に表現することが求められる。等）を基に、法人の理念が制定・施行〔2017（平成29）年5月19日〕されました。続いて、大学の理念の構築にあたり、法人の理念、建学の精神、第20期理事会施策における北里研究所・北里大学のビジョンとの関連も含めて協議を重ね、建学の精神及び北里研究所・北里大学のビジョンは、法人と大学で同じものとなっていることから、理念も法人・大学で不可分であると判断し、大学の理念を法人の理念と同一とする結論に至り、大学の理念が制定・施行〔2017（平成29）年11月17日〕されました。

2. 教育・研究・診療施設・環境の整備

〔白金キャンパス〕

○薬学部校舎・北里本館建替新築工事

(1) 北里研究所/北里大学 プラチナタワー・北里柴三郎記念館（Ⅱ期工事）

※旧北里本館解体含む

工 期：2015（平成27）年4月～2017（平成29）年9月

構 造：高層棟 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上14階、地下2階

低層棟 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上2階、地下2階

延床面積：23,276.72㎡（Ⅲ期工事分含む）

(2) プラチナアリーナ（Ⅲ期工事）※薬学部2・3号館解体含む

工 期：2017（平成29）年9月～2019（平成31）年2月

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造、地上1階、地下1階

〔相模原キャンパス〕

○臨床教育研究棟 [IPE 棟]

工 期：2016（平成28）年1月～2017（平成29）年8月

構 造：鉄骨造（免震構造）、地上5階

延床面積：13,829.00㎡

○大学病院1号館8階改修工事・同7階改修工事

工 期：8階 2017（平成29）年9月～11月

7階 2017(平成29)年12月~2018(平成30)年3月
 構造: 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上8階地下1階
 工事概要: 大学病院1号館7階臨床試験センターを8階に移設し、7階を病棟に改修した。

[十和田キャンパス]

○獣医学部V9号館改修工事
 工期: 2017(平成29)年5月~2018(平成30)年2月

構造: 鉄筋コンクリート造地上4階
 工事概要: 実験動物施設の改修工事

[新潟キャンパス]

○実習棟改修工事
 工期: III期工事 2017(平成29)年6月~9月
 構造: 鉄筋コンクリート造・鉄骨造、地上3階
 工事概要: 実習棟の屋根、外壁、内装、実習室内等の改修工事

[北本キャンパス]

○D地区の福利厚生施設の閉鎖

3. 「北里第一三共ワクチン株式会社」に係る合弁事業化契約の解約

2010(平成22)年11月30日付「第一三共株式会社」との間で締結しました『合弁事業化契約』に基づき、2011(平成23)年4月1日に設立されました「北里第一三共ワクチン株式会社」が営むワクチン事業について、両法人の間で真摯に検討を重ねた結果、北里柴三郎博士の実学の精神を継承した「北里第一三共ワクチン株式会社」のワクチン事業が、日本におけるワクチン事業としてさらに発展することを目指すため、2017(平成29)年11月30日付にて、本法人が所有する「北里第一三共ワクチン株式会社」の全株式を「第一三共株式会社」へ譲渡するとともに、合弁事業化契約を解約しました。

2017(平成29)年度北里研究所総合事業計画に対する自己点検・評価

《評価の基準》

区分	指 標	
A	目標が十分に達成された。	達成度合い(高)
	[評価の視点]	
	・評価を推進し十分な成果が見られた。など	
B	目標がおおむね達成された。	↑
	[評価の視点]	
	・計画を推進し成果が見られたが課題が残っている。など	
C	目標の達成が不十分であった。	↓
	[評価の視点]	
	・計画を推進したが成果が見られなかった。など	
D	目標が達成されなかった	達成度合い(低)
	[評価の視点]	
	・計画を何も推進しなかった。など	

「+」は設定水準をやや上回っている。「-」は設定水準をやや下回っている。
 ※計画の中止又は次年度以降へ繰り延べた場合は『評価対象外』とする。

2017（平成29）年度総合事業計画評価一覧

(1) 経営改革の断行	
① 4病院の経営改革	B
② 経営指標に基づいた戦略的経営管理の推進	C+
③ 経費削減の推進	C+
④ 増収に向けた各種取組の推進	B
(2) 教育・研究・法人運営の基盤整備	
① キャンパス整備の推進	A-
② 法人運営の基盤整備	B
③ IR (Institutional Research) 体制の整備	D
④ 「内部質保証」体制の確立	B
(3) 教育体制の充実	
① 特色ある教育研究の推進	A
② 社会の変化に対応した教育体制の実現	C
③ 教育の質向上と学生支援の充実	B
④ 入学者の質の確保・向上	B
⑤ 国際化の推進	B
(4) 研究体制の充実	
① 大学院の新設・改組の検討	B
② 研究推進力向上を支える体制の構築	A
(5) 医療提供体制の充実	
① 医療提供体制の充実	B+
(6) 治験・知財の活用	
① 知的財産マネジメント及び治験・臨床研究体制の強化	B
(7) 人事・給与制度の整備	
① 人事・給与制度の整備	B-
(8) 危機管理・コンプライアンスの強化	
① 危機管理の強化と組織防衛	B
② 研究活動の公正性確保及び研究倫理の向上	B
(9) 社会貢献の推進	
① 社会・地域・国際貢献活動の推進	B
(特別施策) 法人運営の根幹の強化	
① 法人・大学の理念の再構築	A
② 役員選出方法の見直し	A

2017（平成29）年度 学校法人北里研究所収支決算

《総括》

2017（平成29）年度決算は、経常収支差額が約1.9億円（経常収支差額比率0.2%）の収入超過となり、2年連続で黒字決算となりました。これは、IPE棟およびプラチナタワーの竣工により一時的に収支バランスが崩れる難しい年度にありながらも、修繕費等の削減、病院収支の改善など教職員が一致団結して効率的な事業運営を心掛け努力した結果であると言えます。

しかし、当初予算で掲げた当期の財務目標については、人件費比率は50%を下回り目標を達成したものの、経常収支差額では前年度決算と比較すると3.5億円の減益で、目標としていた7億円（同0.8%）には至りませんでした。今後も医療系3学部校舎建替えや東病院移転統合などの高額な投資が続くことや、病院群の収支が不安定な状態であることなど法人全体の黒字幅は縮小傾向であり、依然として法人経営が厳しい状況にあることには変わりはありません。20期理事会のミッション、すなわち盤石な財政体質の確立のためにも、これまで実施してきた経営改革を今後も継続していくことが必要であると言えます。

また、当年度の補正予算と決算では21億円の乖離がみられました。より実効性の高い事業計画を策定するためには、正確な現状分析に基づく緻密な予算編成が求められます。各予算単位におかれては、予算と決算の乖離を最小限にとどめるよう、予算枠にとらわれず実態に即した予算編成にご協力いただきたい。

1-1. 資金収支決算の概要

2017年度決算における収入の部では、学生生徒等納付金収入192億6,000万円、寄付金収入8億900万円、補助金収入46億6,300万円、付随事業・収益事業収入42億2,000万円、医療収入658億2,600万円など収入合計[A]は1,067億7,400万円となり、これに前年度から繰越した支払資金[B]66億4,300万円を加え、収入の部合計は1,134億1,700万円となりました。

一方、支出の部では、人件費支出450億6,200万円、教育研究経費支出410億3,300万円、施設関係支出84億4,600万円、設備関係支出35億5,000万円、資産運用支出(減価償却引当特定資産や教育研究振興資金の積立)45億2,300万円などの支出により、合計1,067億7,400万円となり、2017年度の支払資金[D]として、66億4,300万円を繰り越すこととなりました。

◇資金収支計算書(法人総括)

(単位:千円)

	科目	2017年度決算額①	2016年度決算額②	増減(①-②)	比率(①/②%)
収入の部	1 学生生徒等納付金収入	19,260,410	18,996,301	264,109	101.4%
	2 手数料収入	655,759	681,888	▲26,129	96.2%
	3 寄付金収入	808,600	1,028,405	▲219,805	78.6%
	4 補助金収入	4,663,494	4,847,019	▲183,525	96.2%
	5 資産売却収入	4,057,250	102,000	3,955,250	3,977.7%
	6 付随事業・収益事業収入	4,220,087	3,606,119	613,968	117.0%
	7 医療収入	65,826,413	64,206,765	1,619,648	102.5%
	8 受取利息・配当金収入	545,143	657,268	▲112,125	82.9%
	9 雑収入	2,132,496	1,972,965	159,531	108.1%
	10 借入金等収入	0	0	0	—
	11 前受金収入	3,664,086	3,836,697	▲172,611	95.5%
	12 その他の収入	17,593,785	15,827,864	1,765,921	111.2%
	13 資金収入調整勘定	▲16,653,478	▲16,075,496	▲577,982	103.6%
		[A] 当年度収入合計	106,774,045	99,687,795	7,086,250
	[B] 前年度繰越支払資金	6,643,000	6,643,000	0	100.0%
	収入の部合計	113,417,045	106,330,795	7,086,250	106.7%
支出の部	1 人件費支出	45,061,993	44,478,217	583,776	101.3%
	2 教育研究経費支出	41,033,374	38,976,388	2,056,986	105.3%
	3 (医療経費支出)	(23,889,295)	(22,878,437)	(1,010,858)	(104.4%)
	4 管理経費支出	2,858,690	3,433,294	▲574,604	83.3%
	5 借入金等利息支出	163,441	185,001	▲21,560	88.3%
	6 借入金等返済支出	1,851,550	2,202,150	▲350,600	84.1%
	7 施設関係支出	8,446,327	6,311,566	2,134,761	133.8%
	8 設備関係支出	3,550,093	1,616,444	1,933,649	219.6%
	9 資産運用支出	4,523,204	1,269,323	3,253,881	356.3%
	10 その他の支出	8,888,688	10,091,910	▲1,203,222	88.1%
	11 予備費			0	—
	12 資金支出調整勘定	▲9,603,315	▲8,876,498	▲726,817	108.2%
	[C] 当年度支出合計	106,774,045	99,687,795	7,086,250	107.1%
	[D] 翌年度繰越支払資金	6,643,000	6,643,000	0	100.0%
	支出の部合計	113,417,045	106,330,795	7,086,250	106.7%

(注) 1. 決算額は千円未満四捨五入したものである。

2. 支出の部[3(医療経費支出)]は、[2教育研究経費支出]の内数である。

(2016 (平成28) 年度資金収支決算額との比較)

【収入の部】

- [1 学生生徒等納付金収入]： 授業料収入、施設設備資金収入の増加などにより、2億6,400万円の増収となりました。
- [2 寄付金収入]： 特別寄付金収入の減少により、2億2,000万円の減収となりました。
- [4 補助金収入]： 国庫補助金収入などの減少により、1億8,400万円の減収となりました。
- [5 資産売却収入]： 関連会社の有価証券売却などにより、39億5,500万円の増収となりました。
- [6 付随事業・収益事業収入]： 受託事業収入、知的財産権実施料等収入の増加により、6億1,400万円の増収となりました。
- [7 医療収入]： 大学病院14億8,700万円増加、東病院4,900万円減少、北里研究所病院3億5,800万円増加、北里大学メディカルセンター1億7,200万円の減少などにより、16億2,000万円の増収となりました。
- [9 雑収入]： その他の雑収入の増加などにより、1億6,000万円の増収となりました。
- [11 前受金収入]： 授業料前受金収入、入学金前受金収入の減少などにより、1億7,300万円の減収となりました。
- [12 その他の収入]： 施設設備拡充引当特定資産取崩収入31億8,700万円の増加、減価償却引当特定資産取崩収入8億8,700万円の減少などにより、18億4,100万円の増収となりました。
- [13 資金収入調整勘定]： 実際の現金収受が無いが、本年度に収入計上すべき額、166億5,300万円について、実際の現金の収受と一致させるため資金収入調整勘定を設け、減額調整を行っています。

【支出の部】

- [1 人件費支出]： 教員人件費支出2億7,700万円増加、職員人件費支出5億1,400万円増加、退職金支出2億2,400万円の減少などにより、5億8,400万円の増加となりました。
- [2 教育研究経費支出]： 消耗品費支出が3億3,000万円の増加、光熱水費支出が1億6,900万円の増加、研究費支出が2億5,600万円の増加、業務委託費支出が1億7,600万円の増加などにより、20億5,700万円の増加となりました。
- [3 (医療経費支出)]： 大学病院8億2,300万円の増加、東病院3,900万円の減少、北里研究所病院1億3,800万円の増加、北里大学メディカルセンター9,100万円の増加などにより、10億1,100万円の増加となりました。
- [4 管理経費支出]： 業務委託費支出3億7,100万円の減少、公租公課支出1億1,300万円の減少、建物等撤去費支出1億7,800万円の減少、雑費支出2億1,500万円の増加などにより、5億7,500万円の減少となりました。
- [7 施設関係支出]： 建物支出69億3,100万円の増加、構築物支出1億3,600万円の減少、建設仮勘定支出46億6,000万円の減少などにより、21億3,500万円の増加となりました。
- [8 設備関係支出]： 教育研究用機器備品支出19億5,800万円の増加などにより、19億3,400万円の増加となりました。
- [9 資産運用支出]： 退職給与引当特定資産繰入支出2億8,800万円の増加、施設設備拡充引当特定資産繰入支出10億4,700万円の減少、教育研究戦略資金引当特定資産繰入支出40億5,700万円の増加などにより32億5,400万円の増加となりました。
- [10 その他の支出]： 前期末未払金支払支出12億1,800万円の減少などにより、11億2,800万円の減少となりました。
- [12 資金支出調整勘定]： 実際の資金減少を伴わないが本年度の支出計上すべき額、96億300万円について、実際の経費の支払いと一致させるため資金支出調整勘定を設け、減額調整を行っています。

1-2. 活動区分資金収支決算の概要

活動区分資金収支計算書は、学校法人会計基準の一部改正に伴い、2015年度より新たに作成が義務付けられた計算書です。これは、資金収支計算書をもとに、資金の流れを”教育活動”、”施設整備等活動”、”その他の活動”の三つに区分し、各活動における資金の流れを明確にすることを目的としたものです。

◇活動区分資金収支計算書（法人総括）

（単位：千円）

科目		2017年度決算額①	2016年度決算額②	増減（①－②）
教育活動による資金収支	1 学生生徒等納付金収入	19,260,410	18,996,301	264,109
	2 手数料収入	655,759	681,888	▲26,129
	3 特別寄付金収入	797,310	1,011,785	▲214,475
	4 経常費等補助金収入	4,433,123	4,719,641	▲286,518
	5 付随事業収入	4,202,692	3,588,796	613,896
	6 医療収入	65,826,413	64,206,765	1,619,648
	7 雑収入	2,132,143	1,970,579	161,564
	教育活動資金収入計	97,307,850	95,175,755	2,132,095
	1 人件費支出	45,061,993	44,478,217	583,776
	2 教育研究経費支出	41,033,374	38,976,388	2,056,986
	3 (医療経費支出)	(23,889,295)	(22,878,437)	1,010,858
	4 管理経費支出	2,852,940	3,389,995	▲537,055
	教育活動資金支出計	88,948,307	86,844,600	2,103,707
	差引	8,359,543	8,331,155	28,388
調整勘定等	306,595	118,670	187,925	
教育活動資金収支差額	8,666,138	8,449,825	216,313	
施設整備等活動による資金収支	科目	2017年度決算額①	2016年度決算額②	増減（①－②）
	1 施設設備寄付金収入	11,290	16,621	▲5,331
	2 施設設備補助金収入	230,370	127,378	102,992
	3 施設設備売却収入	0	102,000	▲102,000
	4 施設設備拡充引当特定資産取崩収入	3,186,530	0	3,186,530
	5 減価償却引当特定資産取崩収入	861,225	1,748,381	▲887,156
	施設整備等活動資金収入計	4,289,415	1,994,380	2,295,035
	1 施設関係支出	8,446,327	6,311,566	2,134,761
	2 設備関係支出	3,550,093	1,616,444	1,933,649
	施設整備等活動資金支出計	11,996,420	7,928,010	4,068,410
	差引	▲7,707,005	▲5,933,630	▲1,773,375
調整勘定等	▲185,139	▲26,616	▲158,523	
施設整備等活動資金収支差額	▲7,892,144	▲5,960,246	▲1,931,898	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	773,994	2,489,579	▲1,715,585	

科 目		2017年度決算額①	2016年度決算額②	増減 (①-②)	
入	1 設 備 売 却 収 入	50	0	50	
	2 有 価 証 券 売 却 収 入	4,057,200	0	4,057,200	
	3 退 職 給 与 引 当 特 定 資 産 取 崩 収 入	0	42,874	▲42,874	
	4 教 育 研 究 振 興 引 当 特 定 資 産 取 崩 収 入	72,364	24,170	48,194	
	5 大 村 賞 引 当 特 定 資 産 取 崩 収 入	800	700	100	
	6 薬学部寄附講座引当特定資産取崩収入	0	20,000	▲20,000	
	7 医学部寄附講座引当特定資産取崩収入	127,162	97,727	29,435	
	8 生命研寄附講座引当特定資産取崩収入	38,305	63,332	▲25,027	
	9 医療系研究科寄附講座引当特定資産取崩収入	101,838	54,575	47,263	
	10 北里研究所継承事業引当特定資産取崩収入	0	23,345	▲23,345	
	11 こまくさ給付奨学金引当特定資産取崩収入	3,000	1,800	1,200	
	12 感染制御及び感染症研究・教育助成引当特定資産取崩収入	10,000	20,000	▲10,000	
	13 感染制御等研究・教育組織運営費引当特定資産取崩収入	58,390	67,746	▲9,356	
	14 生命研・感染制御科学府運営事業引当特定資産取崩収入	100,000	95,332	4,668	
	15 感染制御等研究教育関連他事業引当特定資産取崩収入	10,000	20,000	▲10,000	
	16 北里柴三郎記念室運営事業引当特定資産取崩収入	52,620	41,173	11,447	
	17 貸 付 金 回 収 収 入	56,019	45,489	10,530	
	18 預 り 金 受 入 収 入	7,495	0	7,495	
	19 預 り 保 証 金 受 入 収 入	9,188	132	9,056	
	20 立 替 金 回 収 収 入	660,213	98,322	561,891	
		小 計	5,364,644	716,717	4,647,927
		21 受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	545,143	657,268	▲112,125
		22 収 益 事 業 収 入	17,395	17,323	72
	23 過 年 度 修 正 収 入	353	2,386	▲2,033	
	その他の活動資金収入計	5,927,535	1,393,694	4,533,841	
支 出	1 借 入 金 等 返 済 支 出	1,851,550	2,202,150	▲350,600	
	2 退 職 給 与 引 当 特 定 資 産 繰 入 支 出	287,627	0	287,627	
	3 施 設 設 備 拡 充 引 当 特 定 資 産 繰 入 支 出	0	1,046,641	▲1,046,641	
	4 大 村 賞 引 当 特 定 資 産 繰 入 支 出	0	10,000	▲10,000	
	5 教 育 研 究 戦 略 資 金 引 当 特 定 資 産 繰 入 支 出	4,057,200	0	4,057,200	
	6 薬学部寄附講座引当特定資産繰入支出	0	20,000	▲20,000	
	7 医学部寄附講座引当特定資産繰入支出	125,234	104,482	20,752	
	8 生命研寄附講座引当特定資産繰入支出	0	16,200	▲16,200	
	9 医療系研究科寄附講座引当特定資産繰入支出	50,000	72,000	▲22,000	
	10 北里研究所継承事業引当特定資産繰入支出	3,143	0	3,143	
	11 貸 付 金 支 払 支 出	63,600	63,685	▲85	
	12 立 替 金 支 払 支 出	74,549	75,251	▲702	
	13 預 り 金 支 払 支 出	0	44,578	▲44,578	
	14 預 り 保 証 金 支 払 支 出	0	980	▲980	
		小 計	6,512,903	3,655,967	2,856,936
		15 借 入 金 等 利 息 支 出	163,440	185,001	▲21,561
		16 過 年 度 修 正 支 出	5,751	43,299	▲37,548
	その他の活動資金支出計	6,682,094	3,884,267	2,797,827	
	差 引	▲754,559	▲2,490,573	1,736,014	
	調 整 勘 定 等	▲19,435	994	▲20,429	
	その他の活動資金収支差額	▲773,994	▲2,489,579	1,715,585	
	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	0	0	0	
	前 年 度 繰 越 支 払 資 金	6,643,000	6,643,000	0	
	翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	6,643,000	6,643,000	0	

(注) 1. 決算額は千円未満四捨五入したものである。

2. 事業活動収支決算の概要

2017年度決算における教育活動等経常的な収支の結果を示す経常収支差額〔G〕は1億8,900万円の収入超過となりました。これに特殊な要因により臨時的に発生した特別収支を加えた基本金組入前当年度収支差額（旧帰属収支差額）〔L〕は、43億9,300万円の収入超過となり、基本金組入前当年度収支差額比率（〔L〕 / 〔R〕）はグラフ2《事業活動収入に対する事業活動支出の構成》で示すとおり4.3%となりました。これには、関連会社の株式売却益40億5,700万円、資産処分差額1億6,600万円及び収益事業会計からの特別繰入1,700万円が含まれています。

また、事業活動（旧消費）収支の均衡状態を示す当年度収支差額〔N〕は、43億9,300万円の収入超過、前年度繰越収支差額〔O〕は、2016年度決算確定により333億2,200万円の支出超過となり、前年度繰越収支差額〔O〕に当年度収支差額〔N〕43億9,300万円と基本金取崩額〔P〕12億700万円を加算し、翌年度繰越収支差額〔Q〕は277億2,200万円の支出超過となりました。

◇事業活動収支計算書（法人総括）

（単位：千円）

		科 目	2017年度決算額①	2016年度決算額②	増減 (①-②)	比率(①/②%)		
教育活動収入の部	事業活動収入の部	1 学生生徒等納付金	19,260,410	18,996,301	264,109	101.4%		
		2 手数料	655,759	681,888	▲26,129	96.2%		
		3 寄付金	816,910	1,034,162	▲217,252	79.0%		
		4 経常費等補助金	4,433,123	4,719,641	▲286,518	93.9%		
		5 付随事業収入	4,202,692	3,588,796	613,896	117.1%		
		6 医療収入	65,826,414	64,206,765	1,619,649	102.5%		
		7 雑収入	2,213,041	1,971,579	241,462	112.2%		
		[A] 教育活動収入計	97,408,349	95,199,132	2,209,217	102.3%		
		事業活動支出の部	事業活動支出の部	1 人件費	45,349,620	44,435,343	914,277	102.1%
				2 教育研究経費	49,005,294	46,866,760	2,138,534	104.6%
3 (医療経費)	(23,920,681)			(22,771,166)	1,149,515	105.0%		
4 管理経費	3,242,162			3,810,495	▲568,333	85.1%		
5 徴収不能額等	21,177			33,043	▲11,866	64.1%		
[B] 教育活動支出計	97,618,253			95,145,641	2,472,612	102.6%		
[C] 教育活動収支差額〔A〕-〔B〕	▲209,904	53,491	▲263,395	▲392.4%				
教育活動外収支の部	教育活動外収支の部	1 受取利息・配当金	545,144	657,268	▲112,124	82.9%		
		2 その他の教育活動外収入	17,395	17,323	72	100.4%		
		[D] 教育活動外収入計	562,539	674,591	▲112,052	83.4%		
		1 借入金等利息	163,441	185,001	▲21,560	88.3%		
		2 その他の教育活動外支出	0	0	0	—		
		[E] 教育活動外支出計	163,441	185,001	▲21,560	88.3%		
[F] 教育活動外収支差額〔D〕-〔E〕	399,098	489,590	▲90,492	81.5%				
[G] 経常収支差額〔C〕+〔F〕	189,194	543,081	▲353,887	34.8%				
特別収支の部	特別収支の部	1 資産売却差額	4,057,200	76,990	3,980,210	5,269.8%		
		2 その他の特別収入	319,591	265,151	54,440	120.5%		
		[H] 特別収入計	4,376,791	342,141	4,034,650	1,279.2%		
		1 資産処分差額	165,750	629,055	▲463,305	26.3%		
		2 その他の特別支出	7,662	1,485,739	▲1,478,077	0.5%		
		[I] 特別支出計	173,412	2,114,794	▲1,941,382	8.2%		
[J] 特別収支差額〔H〕-〔I〕	4,203,379	▲1,772,653	5,976,032	▲237.1%				
[K] [予備費]			0	—				
[L] 基本金組入前当年度収支差額〔G〕+〔J〕-〔K〕	4,392,573	▲1,229,572	5,622,145	▲357.2%				
[M] 基本金組入額合計	0	▲4,564,171	4,564,171	0.0%				
[N] 当年度収支差額	4,392,573	▲5,793,743	10,186,316	▲75.8%				
[O] 前年度繰越収支差額	▲33,321,798	▲27,528,055	▲5,793,743	121.0%				
[P] 基本金取崩額	1,207,403	0	1,207,403	—				
[Q] 翌年度繰越収支差額〔N〕+〔O〕+〔P〕	▲27,721,822	▲33,321,798	5,599,976	83.2%				

（参考）

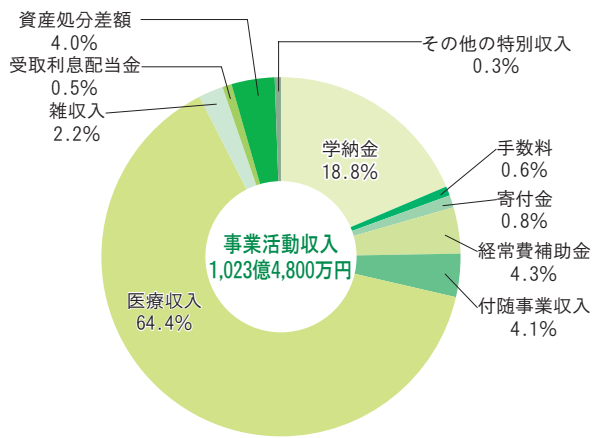
[R] 事業活動収入計〔A〕+〔D〕+〔H〕	102,347,679	96,215,864	6,131,815	106.4%
[S] 事業活動支出計〔B〕+〔E〕+〔I〕+〔K〕	97,955,106	97,445,436	509,670	100.5%

（注）1. 決算額は千円未満四捨五入したものである。

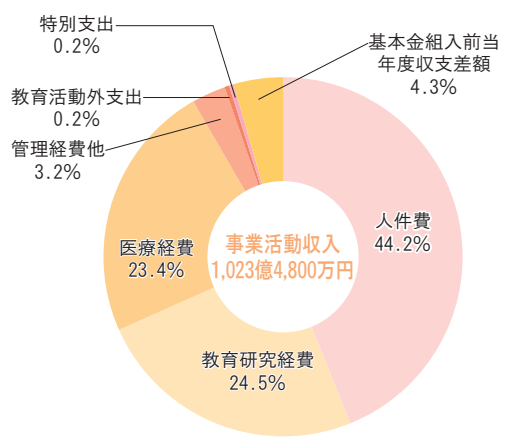
2. 事業活動支出の部〔3（医療経費）〕は、〔2教育研究経費〕の内数である。

◇事業活動収入・事業活動支出の構成比率

グラフ1《事業活動収入の構成》



グラフ2《事業活動収入に対する事業活動支出の構成》



3. 貸借対照表の概要

2017年度の資産の部合計 [A] は2,690億300万円、負債の部合計 [B] は425億6,700万円、資産から負債を差し引いた純資産 [C] は2,264億3,600万円となり、前年度と比較して43億9,300万円 [E] の増加となりました。

◇貸借対照表（法人総括）

（単位：千円）

資産の部			
科 目	2017年度末①	2016年度末②	増減(①-②)
固 定 資 産	248,391,829	244,808,962	3,582,867
有 形 固 定 資 産	140,073,883	136,084,209	3,989,674
（土 地）	(22,843,675)	(22,843,675)	(0)
（建 物）	(87,790,339)	(73,073,073)	(14,717,266)
（構 築 物）	(4,326,379)	(4,037,875)	(288,504)
（教育研究用機器備品）	(12,903,219)	(13,175,251)	(▲272,032)
（管理用機器備品）	(2,397,733)	(2,382,226)	(15,507)
（図 書）	(9,256,220)	(9,321,467)	(▲65,247)
（車 輛）	(35,255)	(36,343)	(▲1,088)
（建設仮勘定）	(521,063)	(11,214,299)	(▲10,693,236)
特 定 資 産	106,641,297	106,740,325	▲99,028
（退職給与引当特定資産）	(19,260,902)	(18,973,274)	(287,628)
（施設備拡充引当特定資産）	(8,634,164)	(11,820,694)	(▲3,186,530)
（減価償却引当特定資産）	(37,724,692)	(38,585,917)	(▲861,225)
（教育研究振興引当特定資産）	(529,980)	(602,344)	(▲72,364)
（こまくさ給付奨学金引当特定資産）	(31,000)	(34,000)	(▲3,000)
（北里研究所継承事業引当特定資産）	(1,522,795)	(1,519,651)	(3,144)
（医学部寄附講座引当特定資産）	(40,972)	(42,900)	(▲1,928)
（生命研寄附講座引当特定資産）	(102,629)	(140,934)	(▲38,305)
（医療系研究科寄附講座引当特定資産）	(0)	(51,838)	(▲51,838)
（感染制御及び感染症研究教育助成引当特定資産）	(70,000)	(80,000)	(▲10,000)
（感染制御等研究・教育組織運営費引当特定資産）	(143,864)	(202,254)	(▲58,390)
（感染制御等研究・教育その他事業引当特定資産）	(70,000)	(80,000)	(▲10,000)
（教育研究戦略資金引当特定資産）	(17,409,933)	(13,352,733)	(4,057,200)
（生命研・感染制御科学府運営事業引当特定資産）	(470,751)	(570,751)	(▲100,000)
（北里柴三郎記念室運営事業引当特定資産）	(441,686)	(494,306)	(▲52,620)
（大村賞引当特定資産）	(8,500)	(9,300)	(▲800)
（第2号基本金引当資産）	(9,476,923)	(9,476,923)	(0)
（第3号基本金引当資産）	(10,702,506)	(10,702,506)	(0)
そ の 他 の 固 定 資 産	1,676,649	1,984,428	▲307,779
（電 話 加 入 権）	(34,477)	(34,477)	(0)
（施 設 利 用 権）	(21,082)	(24,393)	(▲3,311)
（ソ フ ト ウ ェ ア）	(270,984)	(586,088)	(▲315,104)
（有 価 証 券）	(104,575)	(104,575)	(0)
（収 益 事 業 元 入 金）	(999,898)	(999,898)	(0)
（長 期 貸 付 金）	(244,887)	(234,251)	(10,636)
（差 入 保 証 金）	(746)	(746)	(0)
流 動 資 産	20,611,009	20,160,197	450,812
（現 金 預 金）	(6,643,000)	(6,643,000)	(0)
（未 収 入 金）	(12,777,273)	(12,298,865)	(478,408)
（貯 蔵 品）	(522,837)	(546,536)	(▲23,699)
（短 期 貸 付 金）	(189,586)	(192,740)	(▲3,154)
（そ の 他）	(478,313)	(479,056)	(▲743)
資産の部合計 [A]	269,002,838	264,969,159	4,033,679

負債の部			
科目	2017年度末①	2016年度末②	増減(①-②)
固定負債	26,960,956	27,687,305	▲726,349
(長期借入金)	(7,522,150)	(8,563,700)	(▲1,041,550)
(学校債)	(0)	(0)	(0)
(長期未払金)	(161,396)	(143,011)	(18,385)
(退職給与引当金)	(19,260,902)	(18,973,274)	(287,628)
(預り保証金)	(16,508)	(7,320)	(9,188)
流動負債	15,606,370	15,238,914	367,456
(短期借入金)	(1,041,550)	(1,851,550)	(▲810,000)
(未払金)	(9,404,493)	(8,542,841)	(861,652)
(前受金)	(3,746,671)	(3,999,227)	(▲252,556)
(預り金)	(852,791)	(845,296)	(7,495)
(収益事業預り金)	(560,865)	(0)	(560,865)
負債の部合計[B]	42,567,326	42,926,219	▲358,893
純資産の部			
科目	2017年度末①	2016年度末②	増減(①-②)
基本金	254,157,334	255,364,738	▲1,207,404
(第1号基本金)	(227,334,905)	(228,542,309)	(▲1,207,404)
(第2号基本金)	(9,476,923)	(9,476,923)	(0)
(第3号基本金)	(10,702,506)	(10,702,506)	(0)
(第4号基本金)	(6,643,000)	(6,643,000)	(0)
繰越収支差額	▲27,721,822	▲33,321,798	5,599,976
(翌年度繰越収支差額)	▲27,721,822	▲33,321,798	5,599,976
純資産の部合計[C]	226,435,512	222,042,940	4,392,572
負債及び純資産の部合計[D]=[B]+[C]	269,002,838	264,969,159	4,033,679

(注) 1. 資産・負債等の残高は千円未満四捨五入したものである。

〈各科目の主な内容〉

【資産の部】

(1) 有形固定資産

主に、建物・構築物において、白金キャンパス建替計画Ⅱ期工事、相模原フロントラインⅡ期工事、臨床教育研究棟竣工などによる増加があり、上記工事竣工に伴い建設仮勘定が減少し、有形固定資産総額は1,400億7,400万円となりました。

(2) 特定資産

関連会社の株式を売却したことによる収入40億5,700万円を特定資産に繰り入れ、教育研究戦略資金引当特定資産が40億5,700万円増加し、施設設備拡充引当特定資産が31億8,700万円減少、減価償却引当特定資産が8億6,100万円減少したことなどにより、全体で9,900万円減少し、特定資産総額は1,066億4,100万円となりました。

(3) その他の固定資産

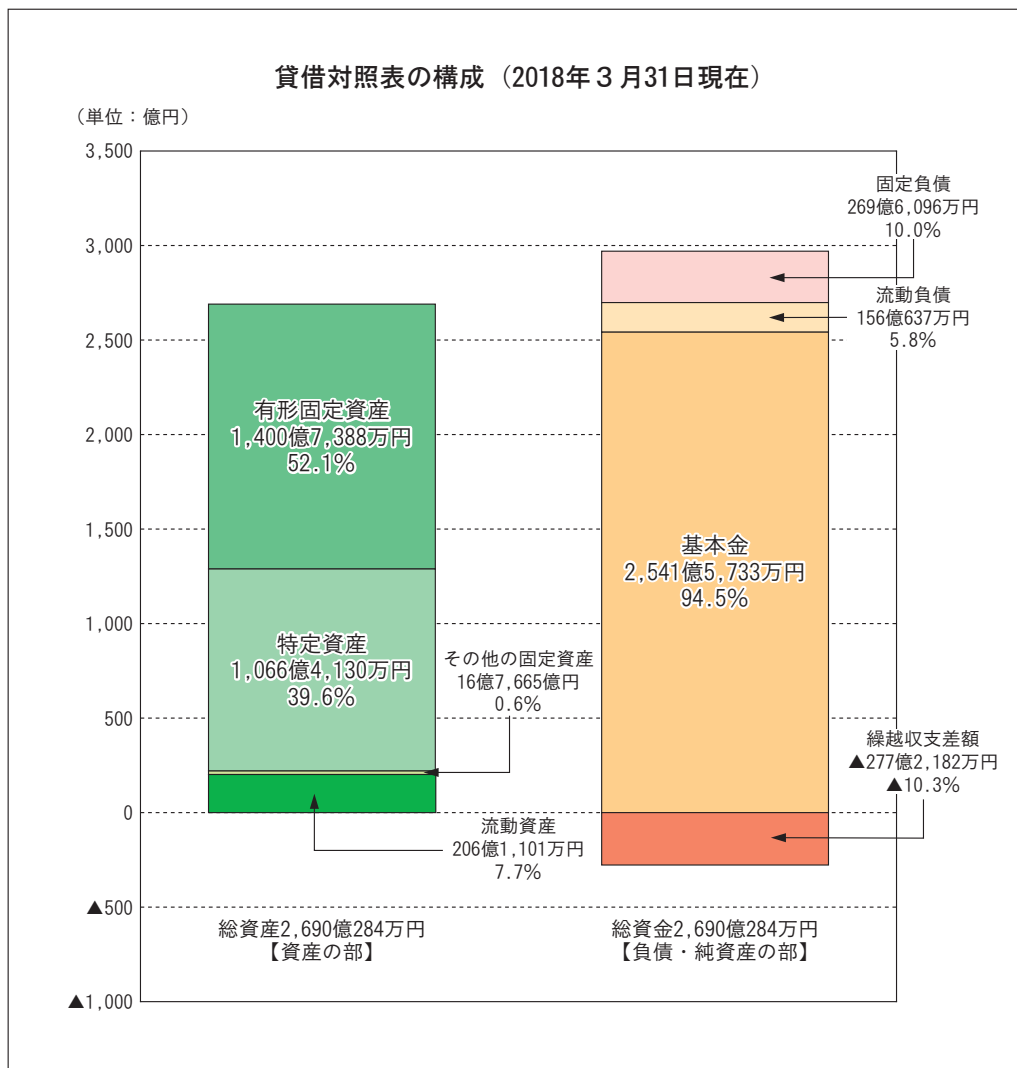
ソフトウェアが3億1,500万円減少したことなどにより、全体で3億800万円減少し、その他の固定資産総額は16億7,700万円となりました。

【負債の部】

長期借入金が10億4,200万円減少したことなどにより固定負債が7億2,600万円減少。短期借入金が8億1,000万円減少し、未払金が8億6,200万円増加、収益事業預り金が5億6,100万円発生したことなどにより流動負債が3億6,700万円増加、全体で3億5,900万円減少し、負債の部合計は425億6,700万円となりました。

【純資産の部】

第1号基本金を取り崩し、12億700万円減少しましたが、全体で43億9,300万円増加したため、純資産の部合計は2,264億3,600万円となりました。



4. 収益事業会計の概要

収益事業部門では、北里第一三共ワクチン株式会社への不動産賃貸業を対象としており、営業利益として1,700万円を計上、経常利益は1,700万円となり、学校会計へ繰入れました。

損益計算書

(単位：千円)

科 目	2017年度決算額①	2016年度決算額②	増減(①-②)	比率(①/②%)
不動産賃貸収入(売上高)	24,120	24,120	0	100.0%
不動産賃貸原価(売上原価)	6,725	6,797	▲72	98.9%
営業利益	17,395	17,323	72	100.4%
経常利益	17,395	17,323	72	100.4%
学校会計繰入前当期純利益	17,395	17,323	72	100.4%
学校会計繰入支出	17,395	17,323	72	—
税引前当期純利益	0	0	0	—
当期純利益	0	0	0	—

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	2017年度決算額①	2016年度決算額②	増減(①-②)	比率(①/②%)
流 動 資 産	560,864	4,020	556,844	13,951.8%
(学 校 会 計 勘 定)	560,864	4,020	556,844	13,951.8%
固 定 資 産	1,003,039	1,003,286	▲247	100.0%
有 形 固 定 資 産	1,003,039	1,003,286	▲247	100.0%
(土 地)	999,898	999,898	0	100.0%
(構 築 物)	4,147	4,147	0	100.0%
(減 価 償 却 累 計 額)	▲1,006	▲759	▲247	132.5%
資 産 合 計	1,563,903	1,007,306	556,597	155.3%
流 動 負 債	564,006	7,408	556,598	7,613.5%
(学 校 会 計 勘 定)	0	7,408	▲7,408	—
(前 受 金)	564,006	0	564,006	—
負 債 合 計	564,006	7,408	556,598	7,613.5%
(元 入 金)	999,898	999,898	0	100.0%
純 資 産 合 計	999,898	999,898	0	100.0%
負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,563,904	1,007,306	556,598	155.3%

監 査 報 告 書

平成 30 年 5 月 18 日

学校法人 北里研究所
理事会御中
評議員会御中

監事 小瀧 徹 監事 結城 泰平 監事 浦部 明子 

私たちは、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人北里研究所寄附行為第 19 条の規定に基づき、学校法人北里研究所の平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）の業務並びに財産の状況について監査いたしました。

1. 監査の方法の概要

私たちは監査に当たり、理事会、評議員会、常任理事会など法人を運営する重要な会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表等並びに財産目録について検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施いたしました。

2. 監査の結果

監査の結果、学校法人北里研究所の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類は財産の状況を正しく示しており、業務又は財産に関する不正の行為、または、法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

2018年 各種国家試験結果

学部・併設校	受験者数	合格者数	合格率	全国平均	
薬剤師					
薬学部	新	244	228	93.4%	84.9%
	既	39	27	69.2%	47.0%
	他	1	0	0.0%	32.6%
	計	284	255	89.8%	70.6%
獣医師					
獣医学部 獣医学科	新	125	121	96.8%	96.9%
	既	15	9	60.0%	62.2%
	計	140	130	92.9%	88.3%
医師					
医学部	新	110	104	94.5%	93.3%
	既	8	6	75.0%	63.9%
	計	118	110	93.2%	90.1%
保健師					
看護学部	新	101	88	87.1%	〔新〕 85.6%
	既	1	1	100.0%	
	計	102	89	87.3%	
保健衛生専門学院 保健看護科	新	69	46	66.7%	〔既〕 18.2%
	既	8	2	25.0%	
	計	77	48	62.3%	
助産師					
看護学部	新	4	4	100.0%	99.4%
	既	1	1	100.0%	88.8%
	計	5	5	100.0%	98.7%
看護師					
看護学部	新	106	105	99.1%	〔新〕 96.3%
	既	1	0	0.0%	
	計	107	105	98.1%	
保健衛生専門学院 保健看護科	新	69	64	92.8%	〔既〕 44.5%
	既	4	4	100.0%	
	計	73	68	93.2%	
看護専門学校 看護学科	新	34	32	94.1%	〔計〕 91.0%
	既	5	3	60.0%	
	計	39	35	89.7%	
臨床検査技師					
薬学部	新	13	9	69.2%	〔新〕 90.5%
	既	2	0	0.0%	
	計	15	9	60.0%	
医療衛生学部 医療検査学科	新	96	95	99.0%	〔既〕 29.1%
	既	4	2	50.0%	
	計	100	97	97.0%	
保健衛生専門学院 臨床検査技師養成科	新	72	71	98.6%	〔計〕 79.3%
	既	7	1	14.3%	
	計	79	72	91.1%	

学部・併設校	受験者数	合格者数	合格率	全国平均	
理学療法士					
医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻	新	41	38	92.7%	87.7%
	既	0	0	—%	18.5%
	計	41	38	92.7%	81.4%
作業療法士					
医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻	新	41	39	95.1%	82.9%
	既	1	1	100.0%	30.3%
	計	42	40	95.2%	76.2%
言語聴覚士					
医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法専攻	新	30	30	100.0%	91.3%
	既	0	0	—%	36.8%
	計	30	30	100.0%	79.3%
視能訓練士					
医療衛生学部 リハビリテーション学科 視覚機能療法専攻	新	33	33	100.0%	99.4%
	既	1	1	100.0%	67.3%
	計	34	34	100.0%	97.7%
臨床工学技士					
医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻	新	37	35	94.6%	〔新〕 82.8%
	既	1	0	0.0%	
	計	38	35	92.1%	
保健衛生専門学院 臨床工学専攻科	新	19	18	94.7%	〔既〕 15.6%
	既	1	1	100.0%	
	計	20	19	95.0%	
診療放射線技師					
医療衛生学部 医療工学科 診療放射線技術科学専攻	新	67	59	88.1%	84.8%
	既	4	0	0.0%	10.7%
	計	71	59	83.1%	75.3%
管理栄養士					
保健衛生専門学院 管理栄養科	新	55	50	90.9%	95.9%
	既	—	—	—%	19.5%
	計	55	50	90.9%	60.8%

注：①「新」は新卒者(年度途中卒業者を含む)、「既」は既卒者を表す。
 ②「既」は既卒者の中で一括受験申請をした者等、大学にて把握可能となっている人数を計上。
 ③薬剤師(他)は、旧4年制卒業者・受験資格認定者を表す。
 ④管理栄養士(既卒)の全国平均は、栄養士養成課程(既卒)を含む。

(2018年3月現在)

事業計画（追加）

《5月理事会承認》

〔事業名称〕

大学病院への東病院移転プロジェクトに関わる新病棟
新築工事及び本館改修工事計画

〔追加理由〕

大学病院本館西側への新病棟建築（プロジェクト答申
B案）を推進するため。

〔計画概要〕

基本設計 2018年4月下旬～5月下旬
実施計画 2018年5月下旬～11月下旬
工事契約 2018年11月下旬
建設工事 2019年1月上旬～2020年1月下旬
移転準備 2020年2月上旬～2020年3月下旬
運用開始 2020年4月上旬（予定）
※総合的な判断の上、ゴールデンウィーク明けの運用
開始についても検討する。

学 長

《5月理事会承認》

学長の選任

伊藤 智夫（薬学部教授）

任期：2018年7月1日～2020年6月30日

学部長・病院長等

《5月理事会承認》

学部長等の任用

薬学部長・薬学研究科長 岡田 信彦（新任）
獣医学部長・獣医学系研究科長 高井 伸二（重任）
医学部長 宮下 俊之（重任）
海洋生命科学部長・海洋生命科学研究科長 菅野 信弘（重任）
看護学部長・看護学研究科長 島袋 香子（重任）
理学部長・理学研究科長 真崎 康博（重任）
医療衛生学部長 北里 英郎（重任）
医療系研究科長 岩渕 和也（新任）
感染制御科学府長 森川 裕子（重任）
一般教育部長 江川 徹（重任）
北里生命科学研究科長 森川 裕子（重任）
北里大学図書館長 七里 眞義（重任）
任期：2018年7月1日～2020年6月30日

病院長等の任用

北里大学病院長 岩村 正嗣（新任）

北里大学東病院長 宮岡 等（重任）
北里大学北里研究所病院長 渡邊 昌彦（新任）
北里大学メディカルセンター病院長 坂東 由紀（新任）
北里大学東洋医学総合研究所長 小田口 浩（重任）
任期：2018年7月1日～2021年6月30日
※宮岡病院長については、2021年3月31日までを任期と
する。

理 事

《5月理事会承認》

第2号理事（学部長）の交代

《就任》

岡田 信彦（次期薬学部長）

任期：2018年7月1日～2020年6月30日

《退任》

本間 浩（現薬学部長）

退任日：2018年6月30日

第3号理事（病院長）の交代

《就任》

岩村 正嗣（次期北里大学病院長）

渡邊 昌彦（次期北里研究所病院長）

坂東 由紀（次期北里大学メディカルセンター病院長）

任期：2018年7月1日～2020年6月30日

《退任》

海野 信也（現北里大学病院長）

土本 寛二（現北里研究所病院長）

廣瀬 隆一（現北里大学メディカルセンター病院長）

退任日：2018年6月30日

第4号理事（評議員）の交代

《就任》

大内 孝文（北里大学同窓会長）

任期：2018年5月26日～2020年6月30日

《退任》

長屋 信博（元北里大学同窓会長）

退任日：2018年5月20日

第5号理事（学識経験者）の交代

《就任》

佐々木敏彦

任期：2018年7月1日～2020年6月30日

《退任》

長谷川和彦

退任日：2018年6月30日

常任理事の指名

佐々木敏彦

【業務分掌】財務担当

【その他分掌業務】募金

任期：2018年7月1日～2020年6月30日

原田 毅

【業務分掌】事務統括担当（新規）

【その他分掌業務】危機管理（副）

関連会社（北里薬品産業、北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所）

任期：2018年7月1日～2020年6月30日

評 議 員

《5月理事会承認》

第3号評議員（学校長）の交代

《退任》

廣瀬 隆一（現看護専門学校校長）

退任日：2018年6月30日

《就任》

坂東 由紀（次期看護専門学校校長）

任期：2018年7月1日～2020年5月31日

第4号評議員（教授会）の交代

《辞任》

岡田 信彦（薬学部教授）

石川 春樹（理学部教授）

辞任日：2018年6月30日

《就任》

田辺 光男（薬学部教授）

弓削 秀隆（理学部教授）

任期：2018年7月1日～2020年5月31日

第6号評議員（同窓会）の交代

《退任》

小林 隆幸（医療衛生学部同窓会）

長原 勝彦（理学部同窓会）

小笠原俊実（紅緑会（獣医学部同窓会））

島田 肇（その他卒業生）

退任日：2018年5月20日

《就任》

千葉 貴子（同窓会副会長）

秋田 久直（同窓会副会長）

永岡 隆（医学部同窓会）

新井 陽子（看護学部同窓会）

任期：2018年5月20日～2020年5月31日

組 織

《5月理事会承認》

臨床研究機構の組織改組

〔主な内容〕

臨床研究機構の各部署における業務内容を踏まえ、法人内の各組織に組み込み、臨床研究機構は廃止する。

- ・グローバル臨床研究支援センター（GCRCC）は、大学病院に組み込む
- ・臨床研究・信頼性保証室は、理事長の下に新設し、事務室は研究推進部に置く
- ・臨床研究・治験事業推進部、医療シーズ探索部、研究連携部及び事務室は廃止する

〔改組年月日〕

2018年7月1日

北里大学病院組織の追加

〔主な内容〕

1. 東病院の「神経内科疾患・神経難病センター」を「難病治療研究センター」として名称変更し、大学病院の組織に新設する。
2. 臨床研究機構の組織改組に伴い、大学病院に臨床研究部を新設し、「グローバル臨床研究支援センター（GCRCC）」を部門として組み込む。併せて、医療支援部に置かれていた臨床研究・先進医療支援室を臨床研究部に移設する。

〔変更年月日〕

1. 2018年5月18日
2. 2018年7月1日

規 程

（5月理事会承認分）

各規程の全文は、「学校法人北里研究所規程集」に収録します。「学校法人北里研究所報」には、原則として理事会の承認事項を掲載します。

知的資産センター設置規程の改正

〔主な内容〕

知的資産センターの構成員の見直し等により、一部条文を修正する。

〔改正・施行年月日〕

改正日：2018年5月18日

施行日：2018年7月1日

臨床研究・治験信頼性保証室設置規程の制定

〔制定理由〕

新たに「臨床研究・治験信頼性保証室」を設置するため。

〔制定・施行年月日〕

制定日：2018年5月18日

施行日：2018年7月1日

北里大学病院設置規程の改正

〔改正内容〕

- 第16条に臨床研究部を追加
- 第17条第2項に難病治療研究センターを追加
- 第24条第2項から臨床研究・先進医療支援室を削除
- 第25条の2に臨床研究業務についての規定を追加

〔改正・施行年月日〕

- 改正日：2018年5月18日
- 施行日：2018年7月1日
- ※第17条第2項については2018年4月1日に遡及し適用する。

委員会等

《5月学部長会了承》

教職課程センター員

〔構成員の交代〕

- 旧構成員 渡辺 克己（理学部教授）（嘱託）
- 村山 正明（獣医学部教授）（嘱託）
- 〈退任日〉2018年3月31日付
- 新構成員 田中 保樹（理学部准教授）
- 衛 秀敏（獣医学部教授）
- 〈任用日〉2018年4月1日付

北里大学地域連携室運営委員会

〔委員長の選出〕

委員長：高井 伸二（地域連携室長）

〔任期满了に伴う後任候補者の選出〕

- 岩本 孝一（地域連携室事務室事務長・教学センター事務室事務長）
- 川崎 健夫（北里大学生涯学習委員会委員長）
- 岡野 安洋（北里大学教育委員会委員長）
- 高橋 明義（北里大学学生指導委員会委員長）
- 江連まゆみ（就職センター事務室事務長）

〔任期〕

2018年5月1日～2020年4月30日

《5月理事会承認》

学校法人北里研究所発明委員会

〔委員長の選出〕

委員長 東原 正明（常任理事（研究担当））

〔委員の選出〕

- 副委員長 吉國 裕三（理学部教授）
- 委員 高平 尚伸（医療衛生学部教授）
- 委員 塩見 和朗（北里生命科学研究所教授）
- 委員 柴原 聖至（㈱ニムラ・ジェネテック・ソリューションズ監査役）
- 委員 清野 正子（薬学部教授）
- 委員 辻 尚利（医学部教授）

〔任期〕

2018年4月1日～2020年3月31日

学術交流

《5月理事会承認》

北里大学理学部学生の受け入れに関する協定の締結

〔協定締結先〕

- (1) 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
- (2) 国立成育医療研究センター研究所
- (3) 首都大学東京
- (4) 国立研究開発法人 国立がん研究センター
- (5) 東京医科大学

〔協定の目的〕

協定締結先での卒業研究実施にあたり、取り扱いを明確にし、実施の意義を担保するため。

〔締結日〕

2018年4月1日付

学長助成金の募集

《5月学部長会了承》

〔趣旨〕

本公募により北里大学における教育改革の推進を目指した取り組み（プログラム）に対して、学長助成金による支援を行う。

〔審査の着眼点〕

1. 本審査に当たっての着眼点は、以下のとおりとする。
 - (1) 取り組み内容
 - (2) 実現の可能性
 - (3) 有効性と将来性
 - (4) 申請経費の合理性

〔採択数〕

数件程度

〔助成額〕

300万円以内/件

〔対象経費〕

科学研究費補助金における対象経費と同様（ただし人件費・労務委託費は除く）

〔応募資格〕

各部門長（学部・一般教育部・研究科・学府等）から推薦を受けたプログラムで、各部門から推薦は1件とする。なお、学部等横断的な申請課題については追加でもう1件推薦可能とし、計画調書に共同申請者とその組織構成を明記し、とりまとめ申請者を決めて、その部門（推薦者は計画を代表する部門長若しくは事務長）から申請すること。

〔応募期間〕

2018年5月14日(月)～2018年6月11日(月)

〔審査スケジュール〕

審査・決定：2018年6月末

報告：2018年7月6日(金) 学部長会

北里国際貢献賞の募集

《5月学部長会了承》

〔表彰の対象者〕

北里大学卒業生あるいは北里大学大学院修了生のうち、国際的に顕著な貢献活動を行うとともに、人物が優秀な者を表彰する。

〔授賞者数〕

1名

〔表彰及び講演会〕

(1) 受賞者には、日本滞在時期に合わせて受賞講演を義務付け、受賞講演時に賞状及び副賞（20万円）を授与する。

(2) 必要に応じて、旅費を補助する。

〔募集期間〕

2018年6月1日(金)～2018年7月31日(火)

〔提出先〕

推薦者は、所属する学部等事務室または北里大学同窓会事務局に所定の推薦書を提出。(⇒取り纏め後、国際部事務室に提出)

〔授賞者の決定〕

推薦された候補者の中から、学部長会（9月7日）の議を経て、学長が決定する。

〔決定通知〕

2018年9月30日までに本人及び推薦者に通知する。

北里環境科学センター助成研究の募集

《5月学部長会了承》

〔応募資格〕

① 2018年度末（2019年3月31日）において40歳未満の本法人に所属する専任（嘱託を含む）の教職員。なお、共同研究者については、本法人に所属する専任（嘱託を含む）の教職員とするが、年齢制限はない。

② 次に該当する者は応募資格はない。

1) 過年度に本助成の採択を受けた者。

2) 過年度に学内助成を受けた者で、当該助成の募集要項に定める要件を履行しなかった者。(例:所定の期限までに研究活動報告書等を提出していない。所定の期限までに研究成果を印刷公表していない等。)

3) 上記①の教職員で2018年度学内助成制度（学長助成金、AKPS共同研究、AKPS研究集会、学術奨励研究、学術国際交流活動）に研究代表者として応募し採択を受けた者。

〔対象研究〕

2018年度中に実施する環境、保健衛生に関する分野をテーマとする研究。

〔採択数〕 1件

〔助成金額〕 1件につき50万円以内/年

〔応募方法〕

① 留意事項

各部門長（学部、一般教育部、研究科、学府、研究所、病院等）から推薦を受けた研究課題とし、各部門からの推薦は1件とします。

② 提出期間

2018年5月16日(水)～同6月15日(金)

③ 提出先 各部門事務室(⇒研究支援センター事務室)

学校法人北里研究所の理念 並びに建学の精神英訳

《5月理事会承認》

■理念 The Philosophy of The Kitasato Institute

○「いのちを^{たつと}尊び、生命の真理を探究し、実学の精神をもって社会に貢献する。」

With profound respect for the sanctity of life, our purpose is to contribute to society by dedicating ourselves to the quest for truth through the application of practical science.

■建学の精神 Our Four Guiding Principles

○開拓 The Spirit of Pioneering

「事を処してパイオニアたれ」

科学の世界ではパイオニアとなり独創性に富んだアイデアを持つ。

Use your ingenuity and creativity to be a pioneer in the world of science.

○報恩 The Spirit of Thankfulness

「人に交わって恩を思え」

自分を育ててくれた人と社会に感謝し社会に貢献することで、恩に報いる。

Be thankful to the people and society that fostered you, and repay your debt with your contribution to society.

○叡智と実践 The Spirit of Wisdom and Practice

「そして叡智をもって実学の人として」

学んで得た知識と技術を実践の場に活かし社会に貢献する。Put your knowledge and skills into practice for the benefit of society.

○不撓不屈 The Spirit of Tenacity

「不撓不屈の精神を貫け」

そのためには、いかなる困難にも屈することなく、果敢にチャレンジする。

Tackle whatever challenge you may face with unwavering determination.

受賞

日本酸化ストレス学会学会賞

薬学部教授 今井 浩孝



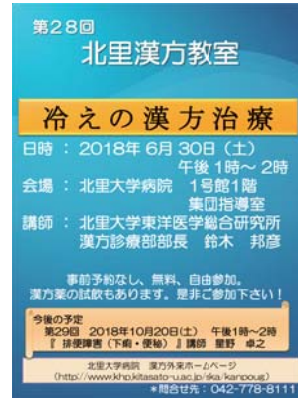
本学薬学部薬学科衛生化学の今井浩孝教授が、日本酸化ストレス研究の業績と、日本酸化ストレス学会の運営・発展への功績を評価され、学会賞を受賞しました。

(2018年5月17日付)

電話：03-5791-6329

メール：o.sato@kitasato-u.ac.jp

第28回北里漢方教室



テーマ：冷えの漢方治療

日時：6月30日(土) 13:00~14:00

場所：北里大学病院 1号館1階 集団指導室

講師：東洋医学総合研究所 漢方診療部部长 鈴木 邦彦

参加費：無料 (予約不要)

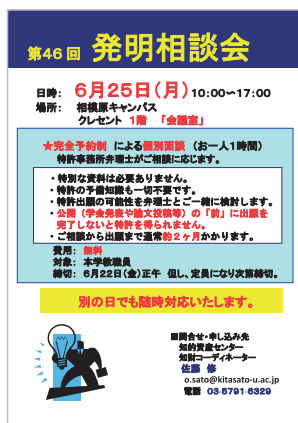
問合せ：電話：042-778-8111

関連URL：<http://www.khp.kitasato-u.ac.jp/kanjya/KanpouG.html>

イベント

詳細につきましては、Web サイトでご確認ください。

第46回発明相談会



日時：6月25日(月) 10:00~17:00
 場所：相模原キャンパス クレセント棟1階会議室
 内容：完全予約制による個別面談 (お一人1時間)
 ※特許事務所弁理士が対応
 対象：本学教職員
 参加費：無料
 締切り：6月22日(金)正午。ただし定員になり次第締切り。
 別の日でも随時対応致します。
 申込み：知的資産センター 佐藤 修

北里大学メディカルセンター市民講座



テーマ：形成外科をご存じですか

～形成外科のまぶたの治療～

日時：7月11日(水) 15:00~16:30

場所：南館2階 AB 会議室

講師：馬場 香子 (形成外科部長)

参加費：無料 (予約不要)

問合せ：北里大学メディカルセンター総務課 048-593-1212

後援：北本市、桶川市、鴻巣市、北本・桶川・鴻巣各市老人クラブ連合会

関連URL：<https://www.kitasato-u.ac.jp/kmc-hp/hospital/healthcare/index.html>

2018年度北里大学薬学部生涯学習セミナー（夏期）

テーマ：薬剤師のための臨床研究入門
～実務からのエビデンス構築を目指して～

日 時：8月4日(土) 14:30～17:45

内 容：

【講義1】「臨床研究の企画立案と実施」

講師：成川 衛（薬学部 教授）

【講義2】「薬局業務を研究してみようー薬局薬剤師の見える化」

講師：宮崎長一郎（日本薬剤師会 常任理事、銜宮崎薬局）

場 所：白金キャンパス 薬学部新1号館1501大講義室

定 員：300名（定員になり次第締切り）

対 象：本学及び他薬系大学の卒業生

受講料：2,000円

締切り：7月30日(月)

申込み：薬友会 HP 生涯学習セミナーページ

登録フォーム：<https://pro.form-mailer.jp/fms/23cdf058147243>
より申込み

問合せ：薬学部生涯学習センター事務局（北里大学薬友会内）

TEL & FAX：03-3448-8191

E-mail：ph-llc@kitasato-u.ac.jp

主 催：北里大学薬学部生涯学習センター

共 催：北里大学薬友会・（公財）日本薬剤師研修センター

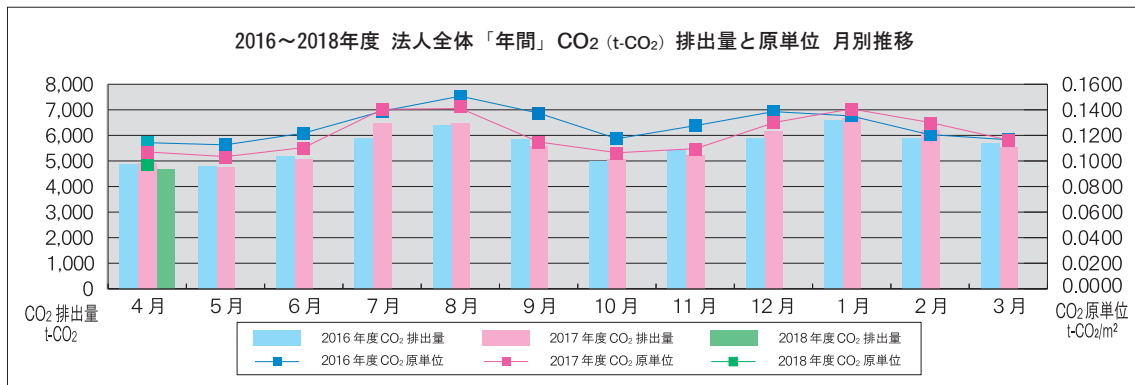
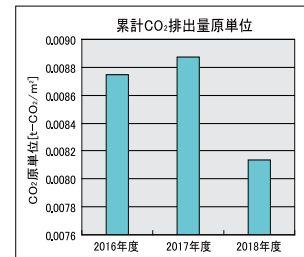
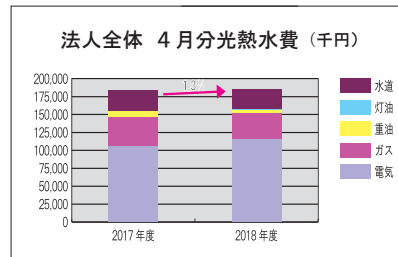
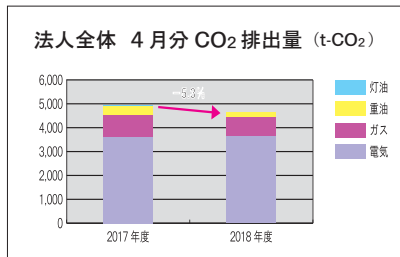
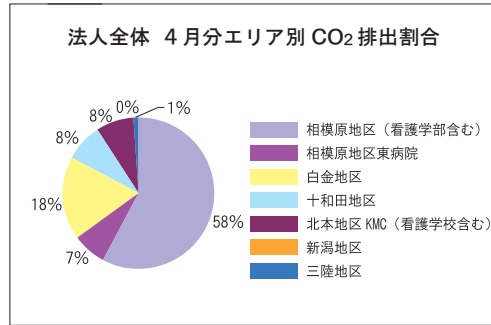
関連URL：https://www.kitasato-u.ac.jp/pharm/general_info/n20180529.html

CO₂ 排出量と光熱水費

より良い地球環境の維持に向けて省エネを推進し、地球温暖化防止および光熱水費の削減にご協力をお願いします。
 外気のとり入れや服装でうまく調整し、空調の使用を最小限に抑える、照明器具をこまめに消灯する、使わな
 いOA機器類は停止する、エレベータは使わずに極力階段を利用するなど「気づいたら即実行」を心がけましょう。

法人全体（寮を除く）

項目	2017年度		2018年度		前年比	
	4月分		4月分			
単位	t-CO ₂	千円	t-CO ₂	千円	t-CO ₂	千円
電気	3,603	105,782	3,630	114,712	▲27	▲8,930
ガス	910	39,797	809	36,598	▲101	▲3,199
重油	390	8,529	201	5,347	▲189	▲3,182
灯油	16	536	19	695	▲3	▲159
水道		28,890		28,505		▲385
計	4,919	183,534	4,659	185,857	▲260	2,323



北里大学

建学の精神（北里精神）

- 開拓** — 一事を成してパイオニアたれ — 科学の世界ではパイオニアとなり、独創性に富んだアイデアを持つ。
- 報恩** — 一人に交わって恩を思え — 自分を育ててくれた人と社会に感謝し、社会に貢献することで、恩に報いる。
- 叡智と実践** — そして叡智をもって実学の人として — 学んで得た知識と技術を実践の場に活かし、社会に還元する。
- 不撓不屈** — 不撓不屈の精神を貫け — そのためには、いかなる困難にも屈することなく、果敢にチャレンジする。

将来像

— 健康・環境・食の連携により、生命科学と医療科学を学ぶ総合大学 —



行事予定

(2018年 7月・8月・9月)

7 月		15 水	
		16 木	
1 日		17 金	↓
2 月		18 土	
3 火		19 日	
4 水	部長会 (10:00 白金)	20 月	
5 木	常任理事会 (10:00 白金)	21 火	
6 金	大学院委員会 (14:00 相模原) 学部長会 (14:20 相模原)	22 水	部長会 (10:00 白金)
7 土	P P A 新旧役員懇談会	23 木	常任理事会 (10:00 白金)
8 日		24 金	
9 月		25 土	
10 火		26 日	オープンキャンパス (相模原)
11 水	部長会 (10:00 白金)	27 月	
12 木	常任理事会 (10:00 白金)	28 火	
13 金		29 水	部長会 (10:00 白金)
14 土		30 木	常任理事会 (10:00 白金)
15 日		31 金	
16 月	(海の日)	9 月	
17 火		1 土	
18 水	部長会 (10:00 白金)	2 日	
19 木	常任理事会 (10:00 白金)	3 月	
20 金	定例理事会 (14:00 白金)	4 火	
21 土		5 水	部長会 (10:00 白金)
22 日		6 木	常任理事会 (14:30 白金)
23 月		7 金	大学院委員会 (14:00 相模原) 学部長会 (14:20 相模原)
24 火		8 土	
25 水	部長会 (10:00 白金)	9 日	
26 木	常任理事会 (10:00 白金)	10 月	
27 金	事務部長・事務長会 (14:30 白金)	11 火	
28 土		12 水	部長会 (10:00 白金)
29 日	P P A 地区懇談会 (大阪)	13 木	常任理事会 (10:00 白金)
30 月		14 金	
31 火		15 土	
8 月		16 日	
1 水	部長会 (10:00 白金)	17 月	(敬老の日)
2 木	常任理事会 (10:00 白金)	18 火	
3 金		19 水	部長会 (10:00 白金)
4 土	オープンキャンパス (~5日 相模原)	20 木	常任理事会 (14:00 白金)
5 日		21 金	定例理事会 (14:00 白金)
6 月		22 土	
7 火		23 日	(秋分の日)
8 水	部長会 (10:00 白金)	24 月	(振替休日)
9 木	常任理事会 (10:00 白金)	25 火	
10 金		26 水	部長会 (10:00 白金)
11 土	(山の日)	27 木	常任理事会 (10:00 白金)
12 日		28 金	事務部長・事務長会 (14:00 白金)
13 月	↑夏期特別休暇	29 土	
14 火	(13日~17日 法人本部・教学本部・大学・併設校)	30 日	